



令和元年 6月14日  
奈良市子ども政策課

平素は奈良市の教育・保育行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。  
令和元年5月18日（土）に開催いたしました説明会の概要を以下のとおりまとめましたので、配布いたします。

今後も定期的に説明会やお知らせをとおして、今後の取組内容をお伝えさせていただきたいと考えておりますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

## 1 当日の説明内容について

### (1) 右京保育園の民間移管の概要について（子ども政策課説明内容）

- ・奈良市においても子どもを取り巻く環境は大きく変化しており、幼稚園の過小規模化、待機児童の増加、保育士不足といった様々な課題の解消に向けて、市立幼保施設の統合・再編と民間移管の2つの手法をもって幼稚園、保育園の再編を推進しています。
- ・右京保育園については、平成28年8月に令和2年（平成32年）4月の民間移管を目指す方針を公表し、保護者や地域の皆様への説明や協議を重ね、ご意見をいただきながら平成30年12月に移管先法人の公募を公表しました。
- ・法人の選定には、学識経験者や保護者代表から組織された奈良市幼保施設運営事業者選定委員会において審議され、平成31年3月に「社会福祉法人希望の会」が選定されました。
- ・公私連携の制度の下、移管後も右京保育園の教育・保育内容を引き継いでいただくとともに、市が一定関与することで、公私のよい部分を活かし、手を取り合って運営していきたいと考えています。
- ・現在、希望の会と園職員、市が参加する引継保育会議を実施しており、園行事や健康診断、地域との行事などの事前調整やそのねらいなどを話し合っています。
- ・引継保育によって、希望の会、右京保育園の両職員が互いに新たな気付きや学びがあったり、保育を見つめ直すよいきっかけとなっているとの声もあり、活発な意見交換の場となっています。
- ・移管により、先生が入れ替わることの子供達への影響について、市としても民間移管の取組を園職員にもしっかりと伝えることで、理解を深めていただき、移管後も園に残っていただけるよう積極的に働きかけていきたいと考えています。

### (2) (仮称) 右京こだま保育園の運営内容について（社会福祉法人希望の会説明内容）

1. 教育保育理念については、右京で大切にしている二つのテーマをもとに考えています。
  - ①自然と関わる環境づくりをし、豊かな感性を育てます。
  - ②地域や身近な人と関わりながら、愛情・信頼関係を築き、優しい心やいたわりの心を養います。
  - ③家庭的な温かい雰囲気の中で、豊かな言葉や表現力を育てます。
  - ④「やりたい」という気持ちを育み、子どもたち主体の活動の中で基本的な生活習慣を身につけていきます。

## 2. 食育について

- ・ 自らの感覚や体験をとおり、食材や作ってくれた人に対する感謝の気持ちを育て、命の大切さを伝えていきます。
- ・ 食材の安全性と衛生に配慮し、園児の心身の発達に必要な栄養を補充します。
- ・ 子ども達が意欲を持って食に関わる体験を積み重ねる中で、食事のマナーを知り、みんなと食べることを楽しみます。
- ・ こだま保育園では、5歳児が種もみからお米づくり、収穫、脱穀を行い、おにぎりパーティーをしています。残った稲穂でしめ縄づくりをし、命をいただく大切さを知らせています。
- ・ 給食は、七夕やクリスマスなどの行事メニュー以外にも年間テーマを決めたメニューを取り入れた食事を提供します。
- ・ 物語メニューや歌メニューでは、実際にお弁当をつめたりと、昼食を楽しみます。
- ・ 食材の旨味を生かし、薄味での味付けやできる限り添加物等は使用せず、月齢や年齢、個々の発達に合わせて大きさや量を調整していきます。
- ・ アレルギー対応については、医師の指示書を元に除去や代替により提供します。
- ・ 離乳食は食材表を元に、保護者と連携して進めていきます。
- ・ 食材は主に国産、地産のものを取り入れ調理し、給食・おやつは手作りを基本とします。
- ・ 毎日違うメニューを取り入れ、子ども達に人気のメニュー等の調理方法を食育だよりで発信します。
- ・ 野菜の栽培や収穫を行い、給食やクッキングで食べることの楽しさや嬉しさを皆と感じ、感謝の気持ちや食べ物を大切にすることを育んでいきます。
- ・ 旬の食材に触れる機会を設け、触れたり匂いを嗅いだり皮をむいたりするなど、食の体験をとおりて毎日の給食を心待ちにできるようにしていきます

## 3. 安全対策について

- ・ 外部侵入や不審者にも対応できるように、防犯カメラの導入を行います。
- ・ 園内の照明は、衝撃時の破損に備え、飛散防止ライトに切り替えます。
- ・ 防犯訓練では、様々な想定のもと具体的な内容や手順、指示内容など職員間の共通理解を深め、研修などにより安全対策に対する専門知識を高めます。
- ・ 定期的な健康診断や毎月の身体測定を行い、継続的に園児一人ひとりの健康状態を把握します。
- ・ 看護師を常駐し、保育士、栄養士と連携を図ったうえで専門性を生かし、発達の状態に応じた心身の健康の保持増進を図ります。
- ・ 使用後のおむつは自園で処理し、生活や遊びの場の衛生面に留意することで、身の回りを心地よく清潔に保ちます。

## 4. 保護者に対する支援、連携について

- ・ コミュニケーションを大切に、保護者と共に子どもの成長を喜び合える信頼関係を築いていきます。
- ・ 保護者の疑問や要望、思いを丁寧に受け止め、内容によっては三者協議によって園運営に活かしていきます。
- ・ 苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員を設置し、迅速かつ丁寧に対応していきます。
- ・ 写真掲示やホームページ、連絡アプリを活用して情報発信し、連絡帳や送迎時の対話を通して園と保護者の相互理解を深めます。

## 5. 保育の質、職員の質向上に向けた取り組みについて

- ・ 職員の資質向上のため、園内研修を充実させ、企画から進行まで職員が積極的に参加し、互いに深めていけるようにしていきます。
- ・ 外部講師を招いた研修の実施だけでなく、職員同士が日々の保育を振り返り、語り合える組織作りを行います。
- ・ 子ども主体の保育の実施のため、人が人を育てるという理念のもと、職員同士で保育を語り合える関係性作り、保育者が主体性を持って高め合える園風土を作っていきます。
- ・ 丁寧な引き継ぎや共同保育を行い、常に意見交換しながら教育保育の継承と充実、多様なニーズに沿った教育保育サービスの展開、環境改善や待機児童解消にも努めていきます。

## 2 アンケートでいただいたご意見・ご質問等に関する考え方

平成31年4月18日（木）から開催されました各年齢ごとのクラス懇談会において、希望の会の紹介を兼ねた説明時に配布させていただきましたアンケートにつきましては、ご協力ありがとうございます。

アンケートでいただきましたご意見・ご質問を以下のとおり取りまとめましたのでご参照いただきますようよろしくお願いいたします。

実施期間 4月18日～5月10日

回答数 26件

### (1) 希望の会からの回答内容

Q1 保育に対する法人の理念を教えてください。

A1 何よりも子どもも大人も楽しい。そんな居場所であり続けることこそ法人の理念です。教育・保育理念は、先日の説明会でお伝えした通りです。（資料1の（2）参照）

Q2 右京保育園の教育・保育方針や運営している園と異なる部分、右京保育園の保育の素敵な部分はどの様に思われているか、教えてください。また、今後保育内容を変えようと思っている部分があればどういうところが教えてください。

A2 教育・保育方針や内容は、こだま保育園も右京保育園もほとんど違うところはありません。特に、子どもに寄り添った温かい保育、一人ひとりを大切にされている右京保育園の保育目標は、私たち希望の会でも一番大切にしている理念です。今まで受け継がれてきた教育・保育はこれからも大切に引き継ぎながら、さらに子どもたちを真ん中においたより良い教育・保育ができるよう保護者と共に築いていきたいと思っております。

Q3 民間移管に関し、子どもへの影響をどのように考えているのか、どう対応される予定でしょうか。また、引継ぎに関しての考え方や公立園としてのこれまでの歩みをどのようにこれからの園運営に活かそうと思われているのか教えてください。

A3 できる限り安心して子どもたちが新しい環境に慣れていけるように、行事の引継ぎだけでなく、普段の保育と一緒に参加させていただきながら、子どもとの信頼関係を築いていきます。また、保護者の方や地域の方々とも細やかなコミュニケーションを通して様々な思いに丁寧に対応してまいります。

Q4 共同保育3ヶ月は短いのではないですか。

A4 あまり多くの大人が保育室にいることは、逆に子どもたちにとってストレスになることがあります。無理なく特定の保育者と温かい信頼関係を築くには約3ヶ月あれば可能だと思っています。また、1月までに担任予定者、また、法人の職員も保育に関わる機会を多く設ける予定です。

Q5 現在運営している施設と右京保育園と定員規模に差がありますが、それに対する考え方や対応方法について教えてください。

A5 本法人の園と比べると確かに定員は2倍ほど違いますが、1クラスあたりの人数は、ほぼ同じ人数ですので、保育者と子どもたちとの関係性はあまり変わらないと感じております。しかし、各年齢ごと2クラスになるので、保育者間の連携や行事の進め方には十分に留意していきたいと思っております。また、管理職である私たちは子どもたちや保護者、また職員とのコミュニケーションを大切にしながら信頼関係を築いていきたいと思っております。こども園になるにあたっては、先日お渡ししましたデイリーをもとに早く帰園する子どもや延長保育を利用する子どもなど、保育利用時間によって偏りや不安が生じないように配慮していきます。

Q6 給食について、白ご飯の提供含め、自園調理で実施されるのでしょうか。また、献立や手作りおやつ、おかわりの可否、使っている食器やカラトリー、衛生面の対応は現在と比べてどのようにされていくのでしょうか。

A6 給食や主食、またおやつは原則自園調理で提供いたします。献立は、1ヶ月間毎日違うメニューを取り入れ、可能な限り国産・地産・季節の食材を使用します。食材そのものの旨味を味わう事が出来るよう薄味で味付けし、できる限り化学調味料や添加物を使用せず、月齢や年齢、個々の咀嚼や発達に合わせて大きさや量を調節していきます。衛生面への配慮、食器やカラトリー、量なども今までと変わらず対応していきます。

Q7 アレルギー対応は今まで通り実施していただけますか。また化学調味料を使用されるかなど、具体的に献立表を例示いただきたいです。

A7 食物アレルギーがある場合は、医師の診断を受け、指示書をもとに、可能な限り除去や代替えによる給食提供を行います。希望があれば、現在の本園の献立表をいつでもご用意できますので、お知らせください。

Q8 行事やスケジュールについては、現在の右京保育園で実施している内容を引き継いでいただきたいです。また開催日についても、今まで同じように土曜日に実施していただきたいです。

A8 行事や年間のスケジュール、また開催日も今までと変わらず計画していきます。保護者の方が参加する行事等は、基本土曜日に行う予定です。内容は目の前の子どもの成長や姿に合わせて安全で無理のない取り組みをしていきたいと思っております。

Q9 学年を超えた縦割りでの保育や行事は実施されるのでしょうか。

A9 現在行われているありんこ会はもちろん、小学校との交流会、おはなしの会など、これからも引き継いで行っていきます。また、法人内での子どもたちの交流も積極的に行っていきたいと思います。

Q10 現在右京保育園の定員が多く、こども園になった場合に幼稚園利用の子どもを受入れられるのか、何人程度募集される見込みなのか、また右京地域の優先について教えてください。

A10 1号認定の定員は、3歳児から各年齢ごとに10名となっています。合計30名ほど募集をかける予定ではありますが、初年度は、3、4歳児に比べ5歳児の入園希望はほとんどないと予想されます。また、募集を上回る申込みがあった場合は、右京地域の希望者を優先していきたいと考えています。

Q11 認定こども園に移行すれば具体的にどのようなことが変わるのでしょうか。また、変化がある場合は、それに対してどのような取組が必要と考えているのでしょうか。

A11 実際に本法人は保育園からこども園に移行しましたが、教育・保育内容や施設において大きく変わることはありませんでした。しかも1号認定で利用されている方も就労されることが多く、預かり保育を利用され夕方まで生活する子どもが多いです。尚、14時で降園する子どもたちがいる場合は、別室（リズム室等）に移動し、お迎えを待つなどの工夫が必要だと考えております。保育時間に関わらず、楽しく充実した一日が送れるよう、保護者と共に子どもたちと関わっていきたいと考えています。

Q12 保育園型のこども園という認識でよろしいでしょうか。

A12 幼保連携型認定こども園です。こども園に移行して変わることは、保護者の方が就労や出産等で環境の変化があっても、就学前まで同じ園で過ごすことができるようになることです。

Q13 年長児と小学校の交流など小学校との連携の継続して実施されるのか教えてください。

A13 今までと同じく小学校との連携は継続して行います。

Q14 昆虫や生き物の飼育、畑づくりといった生き物との共生を大事にする今の園の方針を引き継いでいただきたいです。また、平和教育も引き継いで実施いただきたいです。

A14 今後も自然と触れ合える環境づくりをし、豊かな感性を育てていきたいと考えています。実のなる木、四季折々の草花、菜園などをより充実させていきます。また、地域資源を活用して、安全には十分に気を付けて園外保育を行うなど、自然に触れながら遊べる環境を整えていきます。平和教育については、様々な意見があるようなので、どのように取り入れることができるのかを検討していきたいと思います。

Q15 園庭での遊びやおさんぽについては、今まで実施してきたように安全にまた十分に実施していただきたいですが、園児数が増えても同じように実施できるのでしょうか、また乳児の遊びの時間も確保できるのでしょうか。

A15 今までと同じく園庭遊びや園外保育を大切にしていきます。園庭の使用時間につきましても、現在と同じく乳児と幼児に分けるなど工夫をし、安全に遊べるよう配慮していきます。園外保育につきましては、先日の大津市の痛ましい事故を受け、現在右京保育園でも散歩経路を見直し、より安全に留意されているとお聞きました。今後も子どもたちの安全を第一に考え、定期的に会議や下見をして常に見直していくうえで実施したいと思えます。

Q16 プール遊びは今と変わるのでしょうか。また週何回程度入られる予定ですか。

A16 プール遊びについても今までと同じように取り入れていきます。乳児においても無理のないようこの時期の水遊びを楽しめるようにしていきます。

Q17 自閉症スペクトラム、学習障がいを含め、特別な支援が必要な子どもに対しての支援や関わり方、受け入れに対する考え方、体制などを教えてください。

A17 どの子どもも特別です。保育施設には、多様な背景をもつ子どもたちがいます。その多様性を活かしながら「一人ひとり」を尊重した保育を展開していきます。本法人では、障碍の有無に関わらず、一人ひとりの「かけがえのなさ」を大切にするインクルーシブな保育を目指しています。また、支援が必要な子どもに対しては、保護者や関係機関（発達センターや小学校等）と密に連携を取りながら、その子らしく生活ができるよう支援していきます。

Q18 英語、体操、書き方、そろばんなどのプログラムは実施されるのでしょうか。実施される場合は料金はどうか。

A18 子どもの興味や関心は一人ひとり違います。みんなで一緒に取り組む活動としては、各クラスの担任が目前の子どもの様子に合わせて、運動や表現活動等を取り入れていきます。ですので、特別にプログラム等を取り入れる予定はありません。しかし、今後三者協議会で話し合う中で希望があれば、課外授業を任意で取り入れていくことも考えています。

Q19 職員配置について、年齢や経験年数などのバランスや人数についての考え方を教えてください。また、人材が不足していると言われていた中、必要な職員数を確保することは可能なのでしょうか。

A19 職員配置についてはまずは、できる限り現在働いておられる職員の先生方の再雇用に力を注ぎ、子どもたちにとって安心できる環境づくりに努めていきたいと考えています。各クラスの担任においては、子どもたちの様子を把握したうえで、よりよい人材確保のため各養成校及び保育経験者に呼びかけ、当法人のこども園で経験を積んだ職員も異動し対応していきます。経験年数のある職員や中堅・若手の職員等バランスよく配置したいと思っています。何より経験年数というより、子どもの思いに寄り添い、丁寧な保育ができる人材を確保していきたいと思います。また、職員の育成に関しては、運営の基本理念でも謳っているように、保育の質の向上に向けた課題に組織的に対応していくため、園内研修やカンファレンスを充実させ、保育を振り返り、語り合える組織づくりに努めていきます。

Q20 移管後の保育士のシフトはどのように変わるのでしょうか。現在保育士同士の連携がスムーズで園の配慮が徹底していますが、子ども達の情報が遅番の先生に正確に伝わらないことが起きることを心配しています。また、担任の先生とは朝夕の登降園の際には顔を合わすことはできるのでしょうか。

A20 基本的に、正規職員も早出や遅出の勤務を含め、時差出勤のローテーションを組むように考えています。また、毎日クラスミーティングを行い、各年齢を超えて情報を共有できるようにします。

Q21 先生方の気持ちにも十分配慮し、よりそう姿勢で臨時やパートでの形態で働いている先生方にできるだけ残ってもらえるようにしていただきたいです。

A21 今後、臨時職やパートの先生方と面談をしながら、できる限り残っていただけるように働きかけていきたいと思っています。

Q22 経験の少ない保育士の人材育成の考え方を教えてください。

A22 本法人では、園外研修だけでなく園内研修にも力を入れています。「若いから」ではなく、「若くても」と言っていたらできるように、主体性をもって互いに学び合える関係性を築いていきたいと考えています。

Q23 保育士の給与形態については市と比較した場合どのようになっていますか。

A23 臨時職員のみ給与形態については把握していますが、当法人との大きな差はあまり見受けられませんでした。

Q24 制服・体操服は導入されるのでしょうか。考え方を教えてください。また、導入されるのであれば金額を教えてください。

A24 特に3歳児以上の幼児においては、動きやすく安全に活動出来るように三者協議会で話し合いのうえ、体操服は希望で購入できるようにしたいと考えています。また、来年度より入園される1号認定の家庭には、購入をお願いしようと考えています。（値段については、長そでシャツ1,800円・半そでシャツ1,500円・短パン1,500円 ※希望があれば見本をお持ちします）

Q25 右京保育園での保護者負担が増えるものはありますか。また、参考にこだま保育園での保護者負担となっているものの金額を教えてください。

A25 右京保育園で今集めさせていただいている金額が増えることは現在のところほとんどないと思います。現在こだま保育園では、月刊絵本代（400円程度）3歳児からは主食代（2,000円）1号認定の子どもは給食費（4,000円）を徴収しています。実費徴収としては、遠足代・カラー帽子やお道具箱等の保育用品代などです。なお、給食費については、10月からの幼児教育無償化により国より主食費・副食費とも実費徴収していくとの方向性が示されておりますので、今後変更になる場合があります。

Q26 右京保育園で実施しようとしているセキュリティ対策について教えてください。また、新たに整備する場合保護者負担が増えたりするのでしょうか。

A26 まずは、外部侵入や不審者、事故に対応するため、防犯カメラの導入を行い、園内の照明は飛散防止ライトに切り替えます。また、登降園管理やメール配信機能のある連絡アプリケーションも導入予定をしています。なお、保護者負担に関しては、三者協議会において協議させていただきたいと考えておりますので、今後市から配布させていただく予定の三者協議会の概要でお伝えさせていただきます。

Q27 延長保育時間や料金は現在と変更ありませんか。

A27 延長保育時間や料金は現在と変わりありません。

Q28 開園時間は現在と変更ありませんか。現状より短くならないようにしてほしいです。

A28 開園時間、閉園時間は現在と変わりありません。土曜日は、保育時間が1時間延び、18時半までとなります。



Q29 民間移管後の現在の保護者会は継続や見直しはするのでしょうか。また、こだま保育園ではどうされているのでしょうか。また、継続する場合は幼稚園利用の保護者との時間調整はどうしていくのでしょうか。

A29 保護者会は移管後も継続いたします。子どもたちにとって、より良い園づくりをしていくためには、もちろん保護者の方の力も必要です。時間調整等も話し合いながら、無理なく出来る範囲での保護者会活動をお願いしたいと思います。

Q30 民間移管後によって地域、右京小学校、平城高校とのつながりが変わることはありますか。またこれからどのように関係を作っていくのでしょうか。

A30 まだ仮称ではありますが、「右京こだま保育園」として準備していきたいと思っています。また、地域や学校とのつながりは大切に継続していきます。現在も引継ぎ保育として行事に参加させていただき、関係者の方々と顔合わせをさせていただいています。

Q31 右京保育園の施設について、何か施設整備を実施する予定はありますか。検討されているものがあれば教えてください。

A31 防犯カメラや飛散防止ライトの設置、安全に子どもたちが生活できるように階段の手すりや保育室の家具なども修繕・購入していきたいと思っています。園庭においては、子どもたちが自然と触れ合いながら、よりワクワクできるような環境に整えていきたいと考えています。

Q32 駐車場対策はどのようにされる予定でしょうか。

A32 現在の駐車場は台数も限られており、保護者や地域の方々の理解と協力を得て安全に利用できていると思われます。少しでも台数が増やせればいいのですが、近隣は駅前や高の原病院があることで、駐車場の確保もかなり困難であると思われます。尚、新たに入園される1号認定の方に限っては、市立幼稚園やこども園において徒歩通園を基本としていることから、できる限り車での登降園は避けていただけるよう呼び掛けていきたいと考えています。

Q33 おもちゃは引継いでいただけますか。

A33 慣れ親しんだおもちゃは出来る限り引継いでいこうと考えていますが、さらに子どもたちの遊びを保障するため、種類や数も豊富にしていきたいと思っています。なお、移管時に引継ぎできるものについては、市から提示があると聞いておりますので、今後市と協議させていただきます。

Q34 右京保育園専属の常勤看護師は配置されるのでしょうか、通院状況など現在と同じように細かく気にしていただきたいです。また、できれば今の看護師さんに続けてお願いしていただきたいです。

A34 常勤看護師を配置する予定をしています。子どもたちの体調の変化や細やかな配慮、保護者の方と密に連携をとられ安心感にもつながっていると痛感していますので、私たちも看護師の方の存在は必要不可欠だと考えています。

Q35 病後児保育は実施される予定ですか。

A35 園内に安全面や衛生面に配慮した部屋の確保が困難なため、病後児保育は考えておりません。

Q36 保育士の離職率を教えてください。

A36 年度によって、状況が変わりますので、パーセンテージでは表すことができません。どうしても女性の多い職場ですので、結婚や出産等の理由で離職されることが多いですが、法人としても、育児休暇の取得はもちろん結婚記念日休暇や誕生日休暇等、福利厚生も取り入れています。

Q37 運動会は小学校の校庭を引き続き使えるのですか。

A37 右京小学校がある間は、校庭を使わせていただけるよう働きかけていきます。

Q38 こだま保育園を見学してもよいでしょうか。

A38 ご希望がありましたら、いつでもお問合せください。（必ず事前にお電話にてお申込みください）

Q39 選定前の保護者の要望（アンケート）に対する考え方を教えてください。

A39 民間移管に対しての保護者の不安や切なる思いをお聞きし、とても心を痛めました。同時に、今まで大事にされてきた歴史を引継ぎながら、子どもや保護者、または地域に根差してより良い教育・保育を提供しなければいけないという使命感を抱きました。その中でも何より「右京保育園の子どもたちを愛してもらいたい」とのメッセージが深く心に突き刺さりました。

Q40 右京小学校の統廃合の取組がありますが、例えば小学校の空き教室や、併設して学童保育を実施していただけないでしょうか。

A40 小学校の統合の話をお聞きし、とても不安が募っておられることに十分理解はしておりますが、現在学童保育の運営は考えておりません。今は、右京保育園をしっかりと引継いでいくことがまず第一だと考えております。また、夏祭りや園児たちとの交流会を通して、卒園児がいつでも安心して帰ってこられる園づくりをしていきたいと思っております。

Q41 布団のリース、オムツの園での処理、写真のネット購入できるようにしていただきたいです。

A41 先日の説明会でもお伝えしましたが、使用後のオムツは衛生面を考慮し、原則自園で処理いたします。また、写真の販売においては、送迎時の駐車場混雑を避けるため、保護者の連絡アプリケーションを利用して手軽に購入できるようにしたいと考えています。尚、布団のリースについては、レンタル料が発生しますが、希望でリースできるようにしたいと考えています。

## （２）市からの回答内容

Q1 子どものことをまったく知らない先生が4月から多数になるのは非常に不安です。民間移管される令和2年4月以降も奈良市から職員を派遣してもらうということはできないのでしょうか。

A1 民間移管する令和2年4月以降については、2、3か月を目途に市職員との共同保育の実施、また必要に応じ巡回訪問を実施することとしております。  
ご要望いただいたことについて、この民間移管の取り組みについては、本市の設置する市立園を継続的に運営しつつ、待機児童解消などの課題を解決していくため、右京保育園の民間移管によって正規職員は他の市立園にて勤務することで、園児の受入れをおこなっていくこととしております。そのため、長期間の職員派遣は難しく、移管後の共同保育期間を2、3か月を目途としております。  
また、移管前の共同保育を3か月間設定しておりますが、保育者と園児の信頼関係を築くためには約3か月あれば可能であると考えておりますので、このスケジュールにおいて右京保育園の教育・保育、園児・保護者との信頼関係を引き継いで行けるよう、引き続き移管先法人と協力し引継ぎを行ってまいります。

Q2 募集要項がホームページから削除されているので、一体どのような条件で法人が選ばれたのか、確認しづらくなっている。隠したいから削除したと見られても仕方ないと思う。一日も早く、市ホームページに再掲をお願いしたい。  
また、募集要項や法人に関するパンフレットなどをいつでも見られるように、園に提示をお願いします。

A2 右京保育園の民間移管に関する法人募集の募集要項集に関しまして、移管先法人が決定し募集終了となったことから、市ホームページより削除いたしました。今回再掲のご要望を受け、本市としても、再度ホームページにて公開させていただきました。  
なお、引き続き園掲示板には募集要項集を掲示しておりますので、ご確認いただければと思います。

Q3 今回の説明会の開催方法、アンケートについては、質疑を保護者から奈良市へ出せる機会が設けられていませんでした。移管先法人ではなく、奈良市が説明し、質疑を受け保護者とともに来年度に向けて歩んで下さらないことには子どもとともに親も不安がつのります。このような説明会ですら、移管先法人へ丸投げされるのはいかがと強く思います。

A3 移管先法人が決定し、保護者の皆様が民間移管に対し抱えているご不安を解消していくためには、まず移管先法人がどのような法人か保護者の皆様に知って頂くことを優先するため、保護者会の皆様とも相談の上、限られた時間の中ですが、各年齢のクラス懇談会の時間をいただき、また保護者会総会後にも移管先法人の説明を主とした説明会を実施させていただきました。  
アンケートについても、同様の趣旨で移管先法人に対しての内容とさせていただきます。  
今回いただいたご質問に対しての多くは移管先法人にいただいていることではありますが、保護者の皆様のご不安を解消し、ご期待に応えていくため、引き続き、法人、園、市が力を合わせ公私連携という制度のもと引継ぎを行っていきたいと考えております。

#### 右京保育園の民間移管に関する問い合わせ先

[ 担当課 ] 奈良市 子ども政策課 (市役所中央棟3階)  
(担当) 山本 ・ 北野 ・ 高野  
[ TEL ] 0742-34-4792 [ FAX ] 0742-34-4798  
[ MAIL ] kodomoseisaku@city.nara.lg.jp  
[ 市立幼保施設の再編に関する市のホームページ ]

<http://www.city.nara.lg.jp/www/genre/0000000000000/1366066836305/inc>

